

もっと!

つながる通信

第 3 号

令和4年1月1日発行

発行：名寄市社会福祉協議会

名寄市西1条南12丁目

総合福祉センター内

TEL：01654-3-9862/FAX：01654-3-9949

共催：名寄市町内会連合会

名寄市民生委員児童委員連絡協議会

回 覧

新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで同様の活動が行えない中においても、つながりを失うことなく、暮らしやすい地域をつくっていく一助となるよう様々な地域活動の情報を掲載した「つながる通信」を昨年11月から今年3月まで発行したところですが、今なおコロナ禍の影響が続き、様々な場面に影響を及ぼしており、そういった状況においても地域での支え合いを継続していくことができるよう「もっと!つながる通信」として、来年3月まで毎月発行します。

紙面は、昨年12月から町内会や民生委員児童委員のみなさんのご協力のもと行っている「こんにちはレター」「まごころマスク」に関する取り組みと、名寄市外で行われている活動の紹介になっておりますので、今後の地域での活動にお役立ていただければ幸いです。

こんにちはレター・まごころマスク

第3回目の今回は、風連地区民生委員児童委員協議会の熊谷守さんに「こんにちはレター」「まごころマスク」の配布に同行させていただき、お話を伺いました。

熊谷さんが担当している地区では、風連南区町内会全域を対象として見守り世帯・災害時要援護者に該当する約25名の方々に、毎月1回、民生委員と町内会とが協力して「こんにちはレター」と「まごころマスク」を配布しており、12月には町内会からお渡しするタオルと一緒に配っていました。このように、民生委員と町内会が協力して一緒に配布をおこなうことで、地域の方々に「地域みんなで見守っているから安心して欲しい」というメッセージを込めていると話されていました。

新型コロナウイルス感染症が流行してから感染防止対策のために毎年行われていた敬老会も中止になり、地域に住むお子さんや高齢の方々と多世代交流の場もなくなってしまったそうです。しらかばハイツへの慰問やイルミネーションの点灯などは継続して行っているとのことですが、地域の方々からは「みんなで集まれる場がなくて寂しい」といった声が聞かれていました。

そのようななか「こんにちはレター」「まごころマスク」の配布を始めたところ、子ども達からのメッセージが地域の皆さんの心の支えになっているようで、メッセージを大切に取っておく方もいるとのこと。「こんにちはレター」の通信欄には毎月手書きでメッセージが書かれているとのこと、こうした活動の中にも「みんなで地域の方々を見守る」という思いが込められていました。



今回の配布には町内会長が同行され、熊谷さんと一緒に住民の方々の近況や日々の様子について聞くなど地域の見守りをされていました。訪問先では「毎月楽しみにしているんです」「これからもよろしく

お願いしますね」と見守り活動へ安心感を覚える住民の方々の声が聞かれました。

風連南区町内会での取り組みは、地域の状況を他人事として捉えるのではなくいつでも「我が事」として捉えながら行われており、こういった気持ちが地域の方々の安心につながっているのだと感じられる活動でした。

今後も、民生委員、町内会と連携を取りながら地域の方々の見守りを継続し、コロナ禍においても安心して暮らし続けられるような地域を目指していきます。



真狩村社会福祉協議会

名寄市のみなさんこんにちは！ 要諦山麓に位置する真狩村社会福祉協議会の梶谷唯花と申します。私は大学4年間を名寄市で過ごしました！今でも名寄で過ごした4年間は大切な思い出です。

今回は「コロナ禍における地域の繋がりづくり」となっている、子育て奮闘中のママさんたちが先生役を買って出てくれた「スマホ教室」について紹介させていただきます。

★「スマホ」で生まれたきっかけ

「村の方と仲良くなりたい。自分たちにできることはないか」と一緒に考えていたママさんが二人いらっしゃいました。

以前から「スマホの操作を教えて欲しい」という声が地域の高齢者等から社協に寄せられていたことと、先ほどのママさんから「コロナ禍だし、スマホでの交流もいいな」と「スマホ」というキーワード繋がったことにより、地域の繋がりづくりを目的としたママさんたちを講師とするスマホ教室を開催することとなりました！

★参加者同士の交流

教室ではゴム手袋の着用や、手指消毒、換気と、感染予防を図って開催しています。

定期開催はママさん2名を含む地域の方3名が先生となり、生徒3名の少人数で行っており、今年度いっぱい開催する予定です。

開催していく中で、ママさんたちからは「子どもの託児があるとありがたい」との声が上がり、スマホ教室参加者にお声かけし、今では託児メンバーとして参加したいなど、参加者同士の交流にもつながっています。

また、駐在所の所長さんにも来ていただき、スマホに関する詐欺等の注意喚起も行っていただいています。



★最後に…

小人数でのスマホ教室を行ったことで、生徒と先生がより身近な存在として話ができたり、託児役・先生役といったボランティアメンバー同士の繋がりが少しずつできてきました。

今では、スマホ教室の度に、託児メンバーが子どもたちのために「ほおずき」や「おはじき」等を持ってきてくれたり、1歳半のお子さんが託児メンバーに抱き着きに行ったりとお互いを想った行動が生まれています。スマホ教室以外でも村内でお話している姿を見ると、徐々に世代を超えた地域の新しい繋がりが生まれてきていると実感しています。

まだまだ、思うような地域活動が出来ない現状が続いていますが、今だから出来ることを実践していこうと考えています。



**「つながる通信」は名寄社協ホームページやSNSでも発信しています。
他にも様々な情報を発信していますので、ぜひご登録ください！！**

ホームページ

